



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東  
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,889	△0.0	37	76.7	46	53.4	15	186.6
28年3月期第2四半期	2,890	1.8	21	—	30	—	5	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.83	—
28年3月期第2四半期	0.64	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	4,826	1,838	38.1	220.77
28年3月期	4,832	1,840	38.1	221.47

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,838百万円 28年3月期 1,840百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
29年3月期	—	2.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,188	1.0	153	52.9	163	38.9	52	59.5	6.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	11,660,734株	28年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	3,330,871株	28年3月期	3,350,627株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	8,320,532株	28年3月期2Q	8,273,335株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国および新興国の成長鈍化や個人消費の足踏み状態もあり、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減により財務基盤を強化しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、前期に鈴鹿ウォーターショップ（三重県）を開設し、これにより製造設備が充実し、生産能力が向上しました。それに伴いTwo-Way方式の拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,889百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は37百万円（前年同期比76.7%増）、経常利益は46百万円（前年同期比53.4%増）、また四半期純利益は15百万円（前年同期比186.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）

小売部門においては、前期開設した上越営業所・久留米営業所の他、全社的に既存営業所内での新規顧客開拓を行い、顧客基盤の整備と顧客先への商品委託に重点を置き、お客様本位の営業に努めてまいりました。

卸売部門においては、水素水などの飲料等を中心に販売活動に注力しました。また除菌消臭剤関連商品においては、今期4月に「エアーマスク ポケットスプレー」を発売しました。また、「クイックシールド エアーマスク」「クイックシールド ポケット」が大手量販店やドラッグストア等で定番化され、9月から本格的に販売、出荷が始まりました。

その結果、売上高は2,554百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益15百万円（前年同期比36.6%減）となりました。

#### ②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は333百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益22百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,253百万円となり、前事業年度末に比べ43百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品の増加235百万円、現金及び預金の減少164百万円および受取手形及び売掛金の減少75百万円によるものであります。固定資産は2,572百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産のその他の増加45百万円、建物及び構築物の減少19百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,826百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円減少いたしました。

#### （負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,050百万円となり、前事業年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加80百万円、返品引当金の減少52百万円及び短期借入金の減少40百万円によるものであります。固定負債は936百万円となり、前事業年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少29百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,987百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円減少いたしました。

#### （純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は1,838百万円となり、前事業年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に自己株式の減少10百万円、利益剰余金の減少10百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.1%（前事業年度末は38.1%）、1株当たり純資産額は220.77円（前事業年度末は221.47円）となりました。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年10月28日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額ははありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	883,381	718,998
受取手形及び売掛金	532,963	457,285
商品及び製品	280,265	515,610
委託商品	388,422	378,900
仕掛品	220	146
原材料及び貯蔵品	30,155	32,352
その他	187,285	154,740
貸倒引当金	△5,340	△4,417
流動資産合計	2,297,353	2,253,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	655,373	636,257
土地	1,303,487	1,301,754
その他（純額）	110,103	96,119
有形固定資産合計	2,068,964	2,034,131
無形固定資産	119,371	164,875
投資その他の資産		
前払年金費用	70,695	73,691
その他	280,762	304,951
貸倒引当金	△4,571	△4,808
投資その他の資産合計	346,886	373,834
固定資産合計	2,535,222	2,572,841
資産合計	4,832,576	4,826,457
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	492,380	573,250
短期借入金	710,000	670,000
1年内返済予定の長期借入金	213,596	193,968
未払法人税等	26,297	35,578
賞与引当金	169,890	152,880
返品引当金	63,589	11,182
その他	376,701	413,994
流動負債合計	2,052,454	2,050,853
固定負債		
長期借入金	460,743	431,237
退職給付引当金	139,715	139,691
株式給付引当金	—	3,091
資産除去債務	4,551	4,576
長期未払金	234,590	234,590
その他	100,093	123,460
固定負債合計	939,692	936,647
負債合計	2,992,147	2,987,500

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,733,936	1,722,961
自己株式	△1,001,883	△991,460
株主資本合計	1,837,242	1,836,690
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,185	2,266
評価・換算差額等合計	3,185	2,266
純資産合計	1,840,428	1,838,956
負債純資産合計	4,832,576	4,826,457

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,890,969	2,889,927
売上原価	916,364	818,570
売上総利益	1,974,604	2,071,357
販売費及び一般管理費	1,953,453	2,033,984
営業利益	21,151	37,373
営業外収益		
受取利息	28	52
受取配当金	1,558	1,275
受取家賃	8,603	7,101
事故保険金	1,540	2,416
その他	1,245	1,604
営業外収益合計	12,975	12,451
営業外費用		
支払利息	3,724	2,785
支払手数料	71	46
為替差損	—	463
その他	0	0
営業外費用合計	3,796	3,295
経常利益	30,330	46,529
特別利益		
投資有価証券売却益	6,487	—
固定資産売却益	—	2,295
特別利益合計	6,487	2,295
特別損失		
固定資産除売却損	28	—
減損損失	—	853
リース解約損	156	—
特別損失合計	184	853
税引前四半期純利益	36,633	47,970
法人税、住民税及び事業税	20,117	20,106
法人税等調整額	11,203	12,636
法人税等合計	31,320	32,742
四半期純利益	5,312	15,227



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	36,633	47,970
減価償却費	49,403	46,274
減損損失	—	853
貸倒引当金の増減額(△は減少)	279	△686
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,294	△23
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	3,091
賞与引当金の増減額(△は減少)	△37,100	△17,010
リース解約損	156	—
受取利息及び受取配当金	△1,586	△1,328
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,295
支払利息	3,724	2,785
固定資産処分損益(△は益)	28	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,487	—
売上債権の増減額(△は増加)	△44,829	75,677
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,687	△227,944
仕入債務の増減額(△は減少)	111,559	80,870
その他	△151,427	7,729
小計	△54,038	15,963
利息及び配当金の受取額	1,528	1,268
利息の支払額	△3,724	△2,785
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,035	△20,475
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,270	△6,028
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25,005	△19,801
定期預金の払戻による収入	19,200	19,200
有形固定資産の取得による支出	△37,499	△11,377
無形固定資産の取得による支出	△1,300	—
有形固定資産の売却による収入	—	4,027
投資有価証券の売却による収入	20,533	—
貸付けによる支出	—	△3,000
貸付金の回収による収入	—	200
その他	△20,478	△18,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,550	△29,444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	60,000	△40,000
長期借入れによる収入	—	68,000
長期借入金の返済による支出	△94,579	△117,133
リース債務の返済による支出	△18,440	△24,586
自己株式の取得による支出	△60	△49
自己株式の売却による収入	7,141	5,608
配当金の支払額	△20,654	△21,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,592	△129,511
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,413	△164,984
現金及び現金同等物の期首残高	801,351	707,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	631,937	542,751

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,140,596	425,965	322,343	2,888,905	2,064	2,890,969
計	2,140,596	425,965	322,343	2,888,905	2,064	2,890,969
セグメント利益 又は損失(△)	6,433	17,323	△2,605	21,151	—	21,151

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,236,467	318,304	333,207	2,887,979	1,947	2,889,927
計	2,236,467	318,304	333,207	2,887,979	1,947	2,889,927
セグメント利益 又は損失(△)	△5,340	20,392	22,321	37,373	—	37,373

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(主な減損損失)

「売水事業部部門」セグメントにおいて、減損損失853千円を計上しております。